

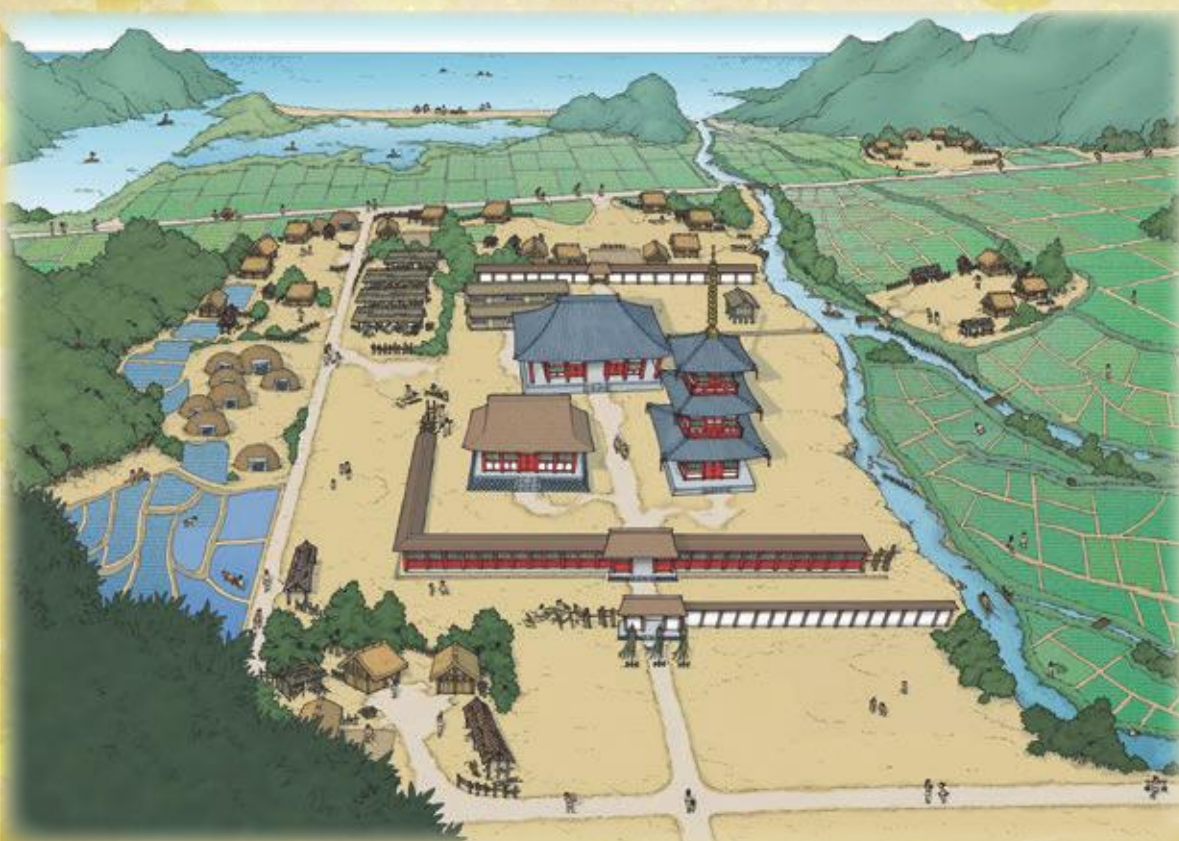
# 議会 だより



登録有形文化財(建造物)として登録される国吉城歴史資料館

## 美浜町で初!!

## だより



国指定史跡になる興道寺廃寺(復元イラスト図)

美浜町文化財シリーズ⑤	1
議長あいさつ	2
12月定例会	2~3
常任委員会の動き	4~5
議会運営委員会	5
原子力発電所特別委員会視察研修・現地視察	6

一般質問	7~11
各委員会・協議会・組合議会報告	11~13
議会と語ろう会	14~15
町民レガッタ	16
知っ得議会シリーズ⑦	16
編集後記	16

# みんなで創るまち、地域の魅力を活かした まちづくりをめざして

美浜町議会議長 松田うめ子



新年明けましておめでとうございます。  
美浜町の皆様におかれましては、ご家族おそろいで新しい年をお迎えになられましたことを心からお喜び申し上げます。  
旧年中は、私も議会活動に深いご理解と温かい

ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

美浜町議会では、「美浜町議会基本条例」に基づき、開かれた議会、行動する議会を目指して、議員の自己研鑽と資質の向上、公正性と透明性の確保、議会活動を支える体制の整備に取り組んで参りました。

昨年は町内6会場において「議会と語ろう会」を開催させていただきました。皆様から頂いた貴重なご意見やご要望につきましては、一般質問等の場で行政側に伝え、まちづくりや町の課題解決に反映させていただいております。今後も、実施方法等の検討・見直しを行いながら、皆様とのより良い意見交換の場づくりに取り組んで参ります。

また、議員は「美浜町議会基本条例」に乗っ取った活動ができたか、その検証、「通年議会」の開催、「議員報酬」の3項目についてワーキング部会を立ち上げ、全議員がそれぞれ部会に所属し、調査研究を進めているところでございます。その成果を次の第17期の新しい議会に引き継ぐことが出来たらと考えております。

私たち議会は、町民の代弁機関、最終意思決定機関として、果たすべき役割と責任を自覚し、みんなで創るまち、地域の魅力を活かしたまちづくりに努力していく所存でございます。

まちづくりの主役は皆様です。皆様方と一緒にあって、これからも様々な町政の課題解決に向けて全力を尽くして参りますので、本年も町議会に対し、変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとって、幸せ多き年となりますことを心よりご祈念いたしました。新年のごあいさつとさせていただきます。

# 12月定例会(12月6日~20日)

12月定例会が、6日から20日までの15日間の会期で開催されました。平成29年度補正予算、消費税10パーセントに向けた税条例の改正など、18議案が上程され、すべて可決しました。

29年度一般会計補正予算では、2億百万円を増額補正し、補正後の額が92億2百万円となりました。

主なものは、水田農業経営に対する助成として3700万円、新規就農者に対する施設園芸のパイプハウス建設助成として1100万円、レタス栽培の株式会社NOUNANN(ノーマン)に対する雇用促進助成金として1000万円、台風5号と21号による災害復旧費として7200万円、また、人事院勧告による職員の給与の改定などです。

条例改正では、税法の改正により平成31年から順次施行される、個人住民税の配偶者控除の見直し、法人住民税の法人税割の引き下げおよび軽自動車税の環境性能割の創設に関

する規定などを設けた税条例の改正や、満15歳までの子ども医療費を支払い窓口で無料化にする、子ども医療費の助成に関する条例の改正などです。  
(野瀬記)



# 平成 29 年度 一般会計 12 月補正予算概要

## 平成 29 年度 一般会計補正予算(12 月) 2億179万円を可決 補正後予算総額 92億266万円

◎ 歳出予算の内訳(主要事項)

(単位:万円)

款	補正額	主 要 事 項	金額	事 業 概 要 等
農 林 水 産 業 費	5,280	収益性の高い水田農業 経営確立支援事業	3,717	収益性の高い水田農業経営の確立のための支援事 業補助(農業機械やパイプハウス等)
		中山間地域農業総合対策 支援事業	1,167	施設園芸の導入(パイプハウス)に対する補助
		農村地域防災減災事業	100	ため池ハザードマップの作成経費
商 工 費	1,560	企業誘致促進事業 (雇用促進奨励金)	1,000	企業誘致条例に基づく雇用促進奨励金の交付 (株) NOUMANN
土 木 費	3,578	観光看板整備事業	2,418	自然環境やまちなみ景観に配慮した、観光案内 標識等の設置工事費
災 害 復 旧 費	7,280	農林水産業施設 災害復旧事業	6,120	台風5号及び台風21号による農業用施設、農地、 林道施設被災箇所の災害復旧費
		公共土木施設 災害復旧事業	1,160	台風5号及び台風21号による道路、河川被災 箇所の災害復旧費

※上記内容のほか、給与改定等による人件費の増額補正を計上(1,834万円)

●専決処分の承認を求めることについて(平成29年度美浜町一般会計補正予算(第4号))

**問** 投票所の変更による、選挙経費は変わったのか。

**答** 大きな影響はなかった。

**問** 投開票事務従事者手当が多いが、自動化に向けた今後の対応はどうか。

**答** 開票事務において、今回最高裁判所裁判官の国民審査投票読取集計機を更新した。

●平成29年度美浜町一般会計補正予算(第6号)  
歳出

〈総務費〉

**問** 国体のレガッタ観覧席設置工事実施設計費が出ているが、場所や形式等議会で諮られていないのではないのか。

**答** 文化庁と協議するための資料作成費用であり、概要が決まれば説明したい。

**問** 人件費の変動に育児休暇などがあるが、実態はどのようになっていくのか。また、仕事の停滞は発生しないのか。

**答** 育児休暇の取得職員は6人で、年度当初からの職員を含めると10人である。病気休暇を取得している職員は、休職を含めて3人である。仕事の停滞については、人事配置や非常勤職

員採用で対応している。

〈民生費〉

**問** 保育士3人の退職があったと聞いたが、業務に影響は無かったのか。

**答** 家庭の事情もあり退職者が発生した。職務は人事配置と非常勤保育士の採用で対応している。

**問** 障害者在宅支援事業の対象人数と委託先はどこか。

**答** 対象はおよそ20名、外出等の支援をしている。委託先は民間事業者である。

〈農林水産業費〉

**問** 農業振興費の収益性の高い水田農業経営確立支援の内容説明を。

**答** いきいき農業サポートプランに基づき、新規農業者を支援する事業で、園芸農業を志す町内の29歳の男性を支援するものである。事業内容は、園芸ハウス13棟計画のうち、今回は1棟のハウスと関係機械などを整備する。

作付予定品目は、キュウリ・青ネギ・エンドウ豆・ヤマトマナ等である。

**問** 土耕栽培はシーズン性に対応できるのか。

**答** 既に、町・二州などの関係機関が一体となり、全面的な応援体制が構築されており、今後も成功するよう全面的に支援したい。

**問** ため池ハザードマップ作成の目的とため池の定義・内容は。

**答** 現在、各地域で管理している農業用ため池を県で調査し、非常時の

浸水対策に備える目的で、町内7集落が対象になっている。

**意見** 土手の倒壊時は下方の広い範囲に影響する。十分調査して欲しい。

**問** 林業振興費で除伐の説明があったが、対象区域はどこか。

**答** 菅浜区の山林7haである。

**問** 町行造林の伐採期は、いつごろになるのか。

**答** 一般的な伐採期として、スギ40年、ヒノキ45年と言われているが、町としては、安値の関係から延ばすことを考えている。

〈商工費〉

**問** 企業誘致促進事業補助金の内容は。また、ノーマンは今後も事業を拡大していくのか。

**答** ノーマンの町内雇用10人で、1人100万円の補助金である。増設の余地はあるが、現在具体的に聞いていない。

〈土木費〉

**問** 空家解体補助金の内容は。

**答** 特定空家に認定された対象16戸のうち、2戸を解体、補助金は費用の3分の1又は上限50万円で、今回上限50万円で補助した。

**問** 屋外広告物景観改善支援事業では、運航されていないジェットクルーズ船の看板の撤去や風で破損した「へしこの町美浜」の看板の修理等は含まれているのか。

**答** 看板のことはそれぞれ確認している。ジェットクルーズ船の看板は個人業者の建てた看板であることから、業者に伝える。また、へしこの看板については、建て替え等を含め検討しているが、景観上早急に対応する。

**問** 観光看板整備事業の内容は。

**答** 28年10月の条例改正により、屋外広告看板の設置可能場所や禁止場所が明確化された。それを受けて、町内の観光看板や民間広告等の整備を行う。箇所は、若狭美浜インターチェンジ、早瀬、久々子交差点と、もう1ヶ所は検討中である。

〈教育費〉

**問** 地区公民館施設整備事業の内容は。

**答** 北西郷公民館の駐車場整備として、約400平方メートルの舗装を予定しており、自動車15台の駐車スペースを確保するものである。

〈災害復旧費〉

**問** 新庄地区、能登又地域の災害箇所は、今後の雪害も考えられ、早急な復旧をお願いしたい。災害復旧の今後の予定は。

**答** 災害復旧の査定は、農地、農業用施設は12月20日に、公共施設は、1月9・10日実施の予定である。今回の12月補正分の災害復旧は、10月末現在であり、専決処分で行った復旧工事、また、12月補正で提案の復旧工事以外で11月以降確認された被災箇

所も確認している。地区とも連携してしっかりと対応していく。  
〈歳入全般〉

**問** 地方債の動向は。

**答** 本年度現在高見込額は、約52億円であり、増加傾向にある。

●平成29年度美浜町診療所事業特別会計補正予算(第1号)

**問** 診療所の予約制について、町民から苦情は出ていないのか。

**答** 苦情等は出ていない。また、患者の状況により緊急対応は実施していく。(山口記)

総務文教  
常任委員会

付託案件3件  
陳情審査1件

●美浜町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

\*主な質疑は一般職と特別職の給与改正を同時に行う必要性について、また一般職と特別職の配布率の公平性について質問しました。

\*回答として、通常は同時に改定する。配布率の逆転はないとの答弁でした。

●美浜町税条例等の一部を改訂する条例の制定について

\*主な質疑は、法人税の引き下げによる税収や、地方交付税に大きな影響を受けないのか。また、軽自動車税

の環境性能割について質問しました。  
\*回答として、法人税は28年度を基に試算すると、約1440万円の減収。交付税は、改正後、地方に手厚く配布される。軽自動車の取得金額が50万円以上の電気自動車、平成32年度燃費基準10%を達成する軽自動車为非課税になるとの答弁でした。なお、自動車取得税はいずれ廃止されるということでした。

●美浜町公民館の設置及び管理に関する条例及び美浜町エネルギー環境教育体験館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

\*東地区公民館丹生分館の管理を、隣接する「さいばす」に移行する提案でした。以上の審査を終了し、すべての議案を承認しました。

●陳情第4号「所得税法第56号の廃止を求める意見書について」

美浜町内での該当性、青色申告での対処方法、廃止後の代替案不明等の意見があり、採決の結果不採択5、継続審査1で不採択としました。(浜野記)

産業厚生  
常任委員会

付託案件6件

●美浜町福祉支援センターあいはるの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●美浜町子ども医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

\*子ども医療費補助制度において、来年度から現物給付方式に変わります。これは、0歳から中学生までの医療費は今後医療機関窓口での一時支払いが不要となるものです。

●美浜町介護保険条例及び美浜町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

●美浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び美浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

●美浜・若狭介護認定審査会の共同設置の廃止について

\*介護認定審査会(要介護級の認定など)が、若狭・美浜両町共同運営から、美浜町単独運営に移行します。将来は、敦賀市との共同運営に変更されます。

●土地改良事業計画の変更について  
以上の審査を終了し、すべての議案を承認しました。(竹仲記)

議会運営委員会

●滋賀県日野町議会視察

10月3日、議会活動の先駆的な取り組みを学ぶため、日野町議会を視察しました。

日野町議会では、本会議会議録のホームページ掲載、議会報告会の開催、傍聴案内はがきの送付及び小学生との意見交換会を実施し、開かれた議会として、議会活動の情報公開を積極的に進めています。

議会報告会は、年に1回1会場で、委員会報告とテーマを決めて開催し、議員全員が出席して取り組んでいます。

●活動報告

議会基本条例の検証、議員報酬及び通年議会について、議員全員で検討しています。

今後、議会だよりや議会と語ろう会と町民の皆様へ報告し、ご意見を頂きたいと思っております。  
(藤本記)



滋賀県日野町議会

## 原子力発電所 特別委員会視察研修

### ●玄海町から学ぶ

10月29日に、佐賀県玄海町役場、玄海町次世代エネルギーパーク「あすぴあ」、九州電力玄海発電所へ視察研修を行いました。

玄海町役場では、3・4号機が来年度再稼働、1号機が廃炉ということとで、美浜発電所と類似点が多く、現在は固定資産税の大幅な減額が町税に大きく影響しているが、3・4号機の再稼働などで32年度から町税が右肩上がりになるなどの説明を受けました。

玄海次世代エネルギーパーク「あす



佐賀県玄海町役場



玄海町次世代エネルギーパーク「あすぴあ」

ぴあ」は、総工費15億2千9百万円をかけて平成25年にオープンし、次世代エネルギーの普及啓発を主眼とした「学びの場」、「地域活性化をもたらし場」といった基本コンセプトに基づき事業運営を行い、来場者は年間11万人を超えています。

九州電力玄海発電所では、昨年8月に3号機、9月に4号機の使用前申請を行い、安全対策の実施状況、重大事故への対応、訓練状況また1号機の廃止措置計画について説明を受けました。

今回の視察研修で得た知見を、美浜発電所の諸課題や「さいばす」の運営等に活かしていきたいと思えます。

(崎元記)

## 現地視察

### ●福井しあわせ元気国体に向けた受入れ体制進む

福井しあわせ元気国体軟式野球大会の会場となる、町総合運動公園野球場などの整備状況を視察しました。内・外野、そしてカラフルな観覧席など、見違えるような施設となりました。また、近くには県園芸研究センターの園芸拠点施設整備事業が県において着手されています。



町総合運動公園野球場



法面崩壊現場(町道金安線雲谷地係)

### ●台風5号・21号による被害状況

超大型台風21号が町内に接近し、雨風が長く更に強まり、町内で21ヶ所(10月末現在)の被害が発生し、今回は、町道金安線雲谷地係における法面崩壊現場を視察しました。復旧までには、半年近くの工期を要すると予想されます。本線は、生活道路でもあり早急な復旧を願うものです。また、河川災害では、能登又谷川の災害状況を視察しました。「災害が忘れたころにやってくる」とならないように教訓としたいものです。

(辻記)

# 一般質問

12月定例会では6人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いただきました。質問、返答については質問者の文責で掲載しています。



兵庫 賢一 議員

## 第73回国体開催と町内諸行事との調整について

**問** 開催まで3百日を切ったが、町民の間には国体への期待よりも諸行事との兼ね合いを心配する人が多い。開催時期は、町民体育祭・町民レガッタ、各地区・諸団体でも行事・事業が詰まっている時期である。放置すれば混乱が生じかねない。詳細な日程を広く周知徹底するとともに協力要請を行い、行事・事業の計画を立てやすくするような、調整・配慮が必要である。不必要な混乱を避け、国体に全力を傾注できる環境を早急に整えるべき。町の取り組みの進捗状況をお伺いしたい。

**町長** 国体成功に向けて、誘致活動に始まり成功後はボートコース・艇庫・競技場、周辺の整備を進め、計画通りに進んでいる。

**生創課長** 会期については、国体の実行委員会や各委員会で知らせており、広報やホームページ等広報啓発に取り組んでいる。全国から多くの方が来町されるので、多くの方々の協力が必要である。町主催のイベント等の開催時期は変更調整中で、町内各集落

や各種団体等のイベント実施についても、変更の協力をこれからお願いしていくところである。

## (株)レインボーラインの今後と三方五湖を中心とした観光振興について

**問** 新社長が決まり、新しい経営方針・戦略が出されるであろうが、同社の今後の方向と美浜・若狭両町の関わり方、具体的にどのような支援を考慮しておられるのか。特に資金面での支援には限界があるが、どのように対処していけるか。

**町長** 新社長のもとで、両町の町長は相談役に、副町長は副社長に就任してもらい、観光担当課長も加わってバックアップ体制をとった。今後、新方針を実現していくための予算の確保、国定公園・名勝指定を考慮した開発行為、それをそれぞれの機関と調整しながら進めていかなければならない。規制のクリアには時間がかかる点は話してある。社長には、既にいくつかの構想がおり、早急に戦略会議をやってほしい。両町では、レインボーラインと三方五湖を中心でやっていくという思いで協議を進めている。

**問** レインボーラインを有料道路として今後も堅持すべきと考えているが、その点について、現在同道路を取り巻く県の環境、町としての考え方はどのような状況にあるか。景観を遮る樹木の伐採は。

**町長** 県では、34年度で福井県道路公社を廃止することが数年前に決まった。公社の幹部と話しているが、確定した話は未だ無い。過去に一般県道に格下げの話もあったが、それでは道路の景観維持は無理で、樹木の伐採は不可能。決定は見えていないが、今の道路の景観を確保していく最大限の努力をしていく。

**問** 三方五湖遊覧船が休止して1年、再開をめぐる現状と観光への影響を報告頂きたい。

**光観課長** 再生エネルギーを活用した遊覧船の導入により、再開に向けた可能性を調査している。今年の状況からは影響は少ないとみている。

**問** 三方五湖・梅丈ヶ岳周辺の観光開発について、近年両町が協同で取り組みを強めている。この際(株)レインボーラインを核に据えて、その牽引役となれる会社になれるように、場合によっては定款を変える必要もあろうが、規模拡大も視野にいれ、両町が一体となり、総合的な戦略を立てていく方向で検討すべきではないか。

**町長** 三方五湖とレインボーラインは両町の観光の中心。県にとっても重要であり、よりグレードアップしていくためには県の協力も必要。

**光観課長** 両町が力を合わせていく総合的な流れが必要であると考えている。魅力アップの検討委員会を継続して実施していきたい。若狭町を含めた広域での航路の運行体制の検討も実施している。また、次第若狭町とも協議したい。



浜野 健治 議員

## 集中豪雨、美浜町の備えは大丈夫か

**問** 台風又は単独の豪雨で繰り返し発生する床下浸水等の災害は、人命に関わる災害で、単に自助、共助で救済できない。公助として根本対策を実施する必要があるが、見解をお聞かせください。

**町長** 人命を守ることは大切である。現状は台風、豪雨の情報を見て、事前に避難所を設置して、避難準備、避難勧告等に対処している。将来的には、森林環境税等による山林の保全が大切と考えている。

**土木建築課長** 災害による床下浸水、土砂流入等災害については、災害状況を確保して現状復帰を基本にしている。土砂流出箇所に対する対策は急傾斜地指定箇所事業等で計画していきたい。

**問** 有害獣対策恒久柵の倒壊に関連した土砂流出対策は。

**土木建築課長** 今回その被災箇所は10集落、28ヶ所あり、早期に対応したい。恒久策としては堰堤、沈砂池等

# 質 問

12月定例会では6人の議員が一般質問に立ち、町行政について、問いただきました。

が考えられる。

**問** 道路、河川、恒久柵の覆い被さっている不要な立木は倒れると通行止め、河川氾濫、有害獣の侵入の元となる。伐採できないのか。

**土木建築課長** 原則は持ち主が伐採しなければならぬ。道路については管理部門が点検して対処することになっている。恒久柵の小災害は多面的機能支払い交付金で対処して欲しい。大きな災害については確認して実施していきたい。国土保全は重要。予算措置が重要なので、あらゆる機会をとらえて、県や国に訴えていきたい。

## 「愛と感動のある教育」の実現を望む

**問** 10月1日付けで就任された、教育長の所信をお聞きたい。

**教育長** 美浜町の教育大綱の基本理念は「個性と能力をのびし、夢を実現する人づくり」と示されている。私はさらに「愛と感動のある教育」と言うことを基軸に、教育を進めてきた。そして、個と集団の結びつきという視点から人権教育を進めてきた。

具体的には子供たちに、不登校やいじめの起きない学校生活と、正しいエネルギー教育、更には将来に備えて英語等語学教育の向上を計る。町民に対しての生

涯学習、社会教育にも力を注ぐつもりである。

**問** 「興道寺廃寺」の国の史跡に、「若狭国吉城歴史資料館」が登録文化財に指定されることになった。今後の方針についてお聞きたい。

**教育政策課長** 保存と管理が大切になる。2年かけて情報、資料の整理をして、さらに2年ほどかけて整備をしていきたいと考えている。

**問** 「きいばす」の初期目標であるエネルギー環境教育が軌道に乗っているとは思えない。今後の計画をお聞きたい。

**町長** 教育施設としての位置づけは変わらない。県のエネルギー拠点化計画にも位置づけされている。国のエネルギー指導要綱の位置づけの準備もしている。それに見あった優秀な人材採用も考えている。



きいばす



竹仲 良廣 議員

## 県が示す中間貯蔵施設の県外設置をどう考える 西川知事の考えを支持する

**問** 福井県知事は、原子力発電所再稼働において中間貯蔵施設の県外立地を条件にしているが、地元と協議することなのか。また、町長はこれで良いと思っているのか。

**町長** 一旦知事として方向性を県民に示すと、特に原子力問題に関してはぶれた方向は出せない。これを理解することから、県外立地を支持する。また、知事、事業者、地元で協議を行なったことである。

**問** 関電社長の会見で、中間貯蔵施設の候補地は今後、管外も選択肢に入れると言っている。考えられる候補地は青森県と考えるが、これをどのように思うか。

**町長** エリア内外かの正式な話を聞いていないので、確認の必要があるが、使用済み燃料の搬出には最大限協力をしなければならない。

**問** 先般、もんじゅ関連協議会が実施されたが、美浜町がその協議会に入っていない。美浜町は立地並みの協議を要請してきたが、この辺の議論はどうなったのか。

**町長** 本町は立地自治体ではないことから協議会に入っていないが、美浜町の立場や考え方はしっかり伝えたいと思う。

**問** 敦賀市と福井県は交付金の増額があるが、美浜町にはそのような増額はないのか。

**町長** 新たな展開を要望しているが、正式な回答はまだない。

## 興道寺廃寺国史跡指定今後の開発予定は 2年間はソフト事業を重点に語り部の育成やフォーラムの開催

**問** 興道寺廃寺の国史跡指定、国吉城歴史資料館の有形文化財の登録について、正式決定はいつ頃か。

**町長** 答申が出たということではほぼ決定だが、正式決定は来年春ごろになる。

**問** 町は、耳地区歴史文化周辺をヒストリーゾーンとして観光開発などにつなげようとしているが、具体的にどのような取り組みを考えているのか。



質問、返答については質問者の  
文責で掲載しています。

**政策課長**  
今回の文化価値を町民に知って  
もらうためのフォーラムや対外  
的に語る人の養成などのソフ  
ト事業に努める。また、保存管理計画  
を作成する。

## 二州地区の高校再編はあるのか 当面再編はないが敦賀高校に特進 コースができる

**問**  
平成21年ごろから県立高校再編  
が実施されてきた。最後は二州  
地区が残っている。今後再編が行われる  
のか。

**教育長**  
少子化に伴い再編の可能性があ  
るが、当面は現状維持となる。  
しかし、敦賀高校に特進コースの設置の  
予定で進んでいる。

**問**  
美方高校は来年で50周年を迎え  
る。地域住民は地元高校として  
後援会活動に協力していただき、学校の  
備品等の充実に努めてきた。県が整備す  
るのが本筋だが、町としても支援するこ  
とができるのか。

**町長**  
我々の時代で美方高校を衰退さ  
せることはあつてならない。地  
元高校の支援は必要と考えるが、基本的  
にハード面は県がしっかりやってもら  
うのが必要で、町はソフト面で支援して  
いきたい。



梅津 隆久 議員

## 美浜町の教育行政について

**問**  
2017年学校教育要覧のうち、  
平成29年度美浜中学校スクールプラ  
ンの具体的な取り組み内容や管理数値目  
標が記載されていないが、どのように評  
価しPDCAを回しているのか。

**教育長**  
教育要覧の冊子には細かなところま  
では記載していないが、プランの  
詳細の中に下位目標や到達度評価として、  
80%とか90%といった数値目標を設定し取  
り組んでいる。

**教育政策課長**  
正式なスクールプランに、具体的  
取り組み内容等をしっかり掲げてお  
り、数値目標に基づき評価してい  
る。確かな学力、豊かな心、健康な心  
身、信頼される学校といった重点目標に対  
し、具体策を掲げ実践している。年度末に  
は、教員や生徒も評価し、さらに保護者の  
方にも評価して頂いている。更には、家庭  
地域、学校、協議会で分析し全保護者に公  
表するといったサイクルを回し、次年度の  
教育の在り方に繋げている。

**問**  
いろいろと評価しPDCAを回して  
いるが、父兄からの学校への対応や  
要請等について、事例があれば伺いたい。  
**教育長**  
不登校や不登校ぎみの児童・生徒は  
存在する訳で、保護者から相談が届  
いていることも事実である。学校長を中心  
に、ケース会議、関係機関と連携し綿密に  
対応している。

**問**  
県内では、3月に池田中学校2年生  
の生徒が自殺する問題が発生した。

文科省のコメントや県からの指導による事  
例検討が学校独自でなされたと思うが、美  
浜中学校としての分析と再発防止に関する  
実践事項についてお聞かせ願いたい。

**教育長**  
決して対岸の火事ではないと感じて  
いる。嶺南教育事務所からの研修や  
職員会議においても研修を実施しており、  
人権教育研究会での話し合いや教職員の情  
報共有を図るための企画委員会も定着させ  
ている。また、美浜独自に学習面、生活面  
をサポートする支援員を厚く配置すると  
共にスクールカウンセラーも配置している。  
今後も、各機関と連携のもとに今一度しつ  
かり足元を見据えて取り組みたいと考える。

## 下水道水洗化率の進捗状況 について

**問**  
第五次総合振興計画の中で、下水道  
の接続促進、経営の明確化、資金管  
理上の課題の中で、水洗化率77.8%から  
32年の目標値82%にするための具体的な推  
進策をお聞かせ願いたい。

**教育政策課長**  
水洗化率については、29年11月現  
在、79.3%まで上昇してきている。  
多額な工事費に掛かる経済的な負  
担、下水道整備以前から個別浄化槽を設  
置している等が要因かと思うが、これからも  
継続して広報や街頭啓発、個別訪問等を通  
じた継続推進強化に取り組んでいきたい。

**問**  
今後、設備が老朽化し、修繕費等維  
持管理費が多額になっていくと予想  
されることから、水洗化率を上げ収益向上  
と効率的な運営、衛生面の改善をお願いし  
たい。また、将来の施設管理として、企業  
会計への移行とあるが、具体的にどう進め  
るのか。

**上下水道課長**  
人口3万人以上の市区町村において  
は、平成27年から31年の期間までに  
移行と言われているが、今後は人口  
3万人未満の行政についても適用になると  
考えられる。

## 行政の将来を担う人材の育成に ついて

**問**  
近年、社会人経験者の中途採用され  
た方の早期退職されていく状況が見  
受けられるが、人材育成のための教育研  
修、人事評価制度や自己申告制度等に問題  
が無いのか、人事面からの見解と人事考課  
への反映をお聞かせ願いたい。

**町長**  
最小の予算で最大の福祉行政を町民  
サービスしていくためには、優秀な  
職員の採用、能力を最大に生かすために適  
材適所の配置、研修が重要かと考えている。

**総務課長**  
嶺南ではいち早く、昇任試験制度の  
採用や、民間的な視点での業務改善  
や職場での活性化にも期待できるといった  
面から、平成27年度より社会人経験者を採  
用している。社会人経験者の早期退職の件  
については、結婚や家庭の事情、健康上の  
理由である。

**問**  
OJTの中で新人を育成指導する  
といった体制がしっかり出来てい  
るのか。

**総務課長**  
課長職がしっかりと管理し育成に努  
めている。また、新人への対応係も  
配置し指導している。

## 情報セキュリティの強化について

**問**  
行政の重要データの流出防止と個人  
セキュリティ、ウィルス持ち込み防止策に  
ついて所見をお聞かせ願いたい。

**総務課長**  
技術的対策として、住基や税、社会  
保障等のマイナンバーを証するシス  
テムネットワーク系、文書作成や国、県  
とのやり取りするL2WAN系、インター  
ネット系にそれぞれ分離し、しっかりとセ  
キュリティに努めている。

# 質 問

12月定例会では6人の議員が一般質問に立ち、町行政について、問いただきました。



河本 猛 議員

## 神戸製鋼の製品データ改ざんによる原発の影響について

**問** 私たちが視察に行っても素材部分の安全性は確認できない。

調査・点検をメーカーや事業者任せでは、不正をさらに覆い隠すことも起こりかねない。メーカーや事業者からの報告を待つのではなく、第三者機関が時間をかけて調査・点検すべきだ。

**町長** 今回の事案について、規制委員会も注視している。メーカーや事業者の検査・確認の結果を受けて、規制委員会として厳正に対処していくと聞いている。この確認方法でも、規制機関としての役割は十分に果たされていると考えている。

**問** 結局、メーカーや事業者任せで、調査した結果を待っているという状況に変わりはない。例えば、原発が稼働していたとすると、立地行政の立場として、原発を停止してでも調査・点検を行わせるという考えがあるのか。

**町長** 町としては、事業者の調査の結果により、規制委員会がどう対処されるのかによって判断をしていくことになる。

**問** 立地行政は、住民の安全を確保する立場だから、停止させるのが当

然だと思う。不正が発覚したら、即廃炉を判断するべきではないか。

**町長** 不正の事態によって対処方法が異なると思っている。

**意見** 老朽原発に費用を投資すること自体が無駄である。不正というものが発覚したら即廃炉を判断すべきだ。

## 原発の避難訓練について

**問** 滋賀県のスクリーニング訓練では、人が機器を当てて調べると5分かかるものが、1人5秒で被ばくの判定ができるゲート式の測定器を導入している。行政の責任として、設備機器、訓練内容の強化は考えているのか。

**エネルギー政策課長** 原子力規制庁の指針にのっとり実施している。

**問** 原発事故時の避難対策は、立地以外の県、市町の方が、有効的かつ具体的な対策が進んでいる。滋賀県や京都府、兵庫県などの対策を学んだほうがいい。滋賀県の人口は美浜町の約141倍。長浜市を見ても約11倍から12倍。原発事故が起これば、立地同様の避難が必要になるかもしれない多数の人たちを議論の外に置いているのが、国が進めてきた原子力政策だ。民主的な考え方に立てば、広域的な自治体に同意権を与えて合意形成を図るべきだ。

**町長** 立地としては、原子力の必要性を確認しながら住民理解を求めている。国政に協力している立地の意見をしっかりと県、国に届けていきたい。

**意見** 立地の自治体財源を盾に、小規模な自治体に原発とその同意権、ま

た、責任を押しつけてきた国の原子力政策そのものが非民主的であって間違いだと思う。

## 農林水産業の基幹産業化について

**問** 農産物の生産量を拡大させて担い手を確保していく展望について、考え方を伺う。

**農林水産課長** 農林水産課長 園芸ハウス数は現在81棟で、園芸作物の生産量についても確実に拡大している。担い手の確保については、農業を希望する方が、黄舎に宿泊しながら農業体験なども行っており、平成31年度までに2人確保ができるように努力している。

**意見** 行政が地域と一緒にやって農業の担い手を育てていくためにも、来年度予算や事業計画の拡充を図り、農林水産業の基幹産業化を目指していただきたい。

**問** 漁業の担い手づくりにとっても、魚佃の安定対策というのは必要だと考えるが、町の考え方を伺う。

**農林水産課長** 町と漁協としては、1年間の漁獲金額に対して、落ち込みがあれば補填される所得補償制度を活用するとともに、漁業所得の向上による漁業経営の安定確立を図りたい。

**意見** 漁業者や組合と連携して町の漁業を推進していただきたい。また、「若狭美浜寒ぶり・ひるが響」も福井県を代表するブランドに育てていただきたい。



辻井 雅之 議員

## 台湾の石門区との姉妹都市交流とインバウンド(訪日外国人旅行)について

**問** 来年、石門区との国際交流が30周年を迎えるが、記念の催しやイベントを予定しているのか。また、インバウンド用のプロモーションビデオを持って町長のトップセールスを行ったと聞かすが、台湾の反応はどのようなものだったか。

**町長** 来年8月4日に美浜中学校から、訪台ホームステイも含め、台湾石門区での記念式典等を行うことで、呉市長、新北市ヨウ副市長とは合意した。これからも、お互いに行き来する歴史のある交流を大切にしていきたい。インバウンド営業では、美浜のPRビデオは大変好評で、表敬訪問も含め多くの人脈が出来たことが一番の収穫で、貴重な意見やアドバイスも頂いた。

## 図書の出貸状況はどのようなものか

**問** 図書館が新設され5年目を迎えるが、現在の図書の貸出数と状況は

質問、返答については質問者の  
文責で掲載しています。

**生涯学習課長** 図書の出出については、以前と比較して蔵書冊数が1・4倍に増え、現在6万5000冊を所蔵し、昨年の年間貸出冊数は8万6000冊に増えた。来館者も年間4万4000人と2・5倍と大幅に増えた。

これは、県内の坂井市に次いで3番目の貸出数になっている。要因は、図書スペースが広がったことと、「なびあす」の複合施設として、相乗効果もあり利用しやすい環境にあるとも考えられる。実際に成人層の利用者も増えている。これからは色々な企画を講じて、益々の充実を図りたいと考えている。

## 「いきいき農園」と「黄舎」の利用状況は

**問** 今年開設した農業体験施設「美浜東 美し野いきいき農園」とその隣にある空家を改修した移住体験施設「黄舎(おうしゃ)」の貸出・利用状況はどのようなものか。

**農林水産課長** 農園は54区画の貸出で農園を整備し、約8ヶ月が経過した。利用状況は14名で、うち町内が10人、敦賀市の方が4名で、21区画の貸出となっている。今後も広くPR周知に努め、利用者の増加を図りたい。

黄舎の利用については、4月15日にオープンして以来、11月末で延べ217名の利用がある。これは、移住希望者の宿泊体験や新規就農者の一時宿泊施設、ま

た、都会で本町とゆかりのある店の研修の場所に利用され、更に「いきいき農園」の収穫祭でも活用された。

## 今年の冬の除雪体制と歩道の安全確保は

**問** これから冬季に向かい降雪があると思うが、どのような除雪体制がとられるのか。また歩行者の安全対策はどう講じられるのか。

**土木建築課長** 12月1日から翌年3月31日までの期間を除雪対策期間と定め、除雪の配備体制をとっている。町の所有車両3台と民間業者25社から借り上げ、地元の区など15団体の協力で除雪作業を行う予定である。

除雪車出動の基準は、積雪が10センチで直ちに作業にかり、降雪時は準備待機する。町の地域防災計画に基づき、積雪量が概ね1メートルを超え、引き続き降雪が予想されるときは雪害対策本部を設置するなど、除雪配備体制をとる。

幹線道路、生活道路を優先的に除雪し、歩道除雪は通学路を中心に積雪20センチに達したとき行い、それぞれの学校に決められた通学路と距離がある。児童生徒の安全確保については、各学校で登下校などに注意勧告を行っている。今後も、地域住民の方や保護者、見守り隊のご協力を得て通学路、歩道除雪の協力と安全対策に努めていきたい。

## 全員協議会

【10月26日開催】

### 株式会社レインボーラインの新体制について

株式会社レインボーラインの新体制について行政から報告がありました。

今までの経営者(若狭町長が社長、美浜町長が副社長)が非常勤なため、スピード感をもった的確な意思決定やこれからの北陸新幹線敦賀延伸に向けた対応が難しい状態です。

また民間としての、社員の意識改革や会社が目指す姿の再確認が必要になってきました。

今年の入り込み客数は、9月末で約33万人で黒字経営となっておりますが、かつての賑わいに影を落とされています。

今後、開業50年を迎え新たなステージに向かい、100万人が訪れる観光地へ再構築することが今回の組織改革です。

そのため、去る10月14日に株式会社レインボーラインの第49期臨時株主総会が開催され、代表取締役社長に石田靖彦氏が新たに就任され承認されました。期間は、平成29年12月1日から平成34年11月

30日の5ヶ年です。

新社長の就任により、若狭町副町長と美浜町副町長が取締役副社長に若狭町長と美浜町長は相談役に就任することとなりました。その他に、会社経営に関する重要事項を審議し、取締役会を補完する機関として開催される「経営戦略会議」と戦略会議開催までの調整や、その他必要に応じて開催される「連絡調整会議」が新たに設けられました。

(川畑記)



三方五湖レインボーライン

## 【11月15日開催】

### ●台風災害の復旧

11月15日、8月7・8日に発生した台風5号および10月22・23日に発生した台風21号の10月末時点での被害状況とその対策の説明がありました。

大きな被害状況は写真のとおりです。被害額は、約7000万円に上ると推定しています。

道路 14件 1002万1千円  
農地 34件 3082万5千円

(竹波16件、菅浜9件、野口2件、その他7件)

農施設 34件 1899万円

(竹波6件、菅浜11件、

北田3件、新庄3件、

丹生2件、その他9件)

河川 3件 465万2千円

林道 6件 557万円

そのほか冠水や小規模被害が48件ありました。

今後、県や国と協議し、早期復旧を目指したいとのことです。

※美浜町議会では、12月15日に現地視察を行い、災害状況を確認しました。(6頁参照) (野瀬記)



法面崩壊(町道金安線雲谷地係)



倒木(林道栗柄～河内谷線)

## 敦賀・美方消防組合議会

### 29年度補正予算・

### 28年度決算

12月22日、敦賀美方消防組合議会が開催されました。

平成29年度一般会計補正予算の主な内容は、職員給与と退職手当が約2600万円、三方消防庁舎の設備等整備費に約587万円が計上されました。

平成28年度一般会計の決算は、歳入額15億7706万円、歳出額15億6810万円となりました。近年、猛威を振るう自然災害により、地域防災体制の充実、強化が図られた決算で、高度救助資機材の導入、美浜消防団には小型動力ポンプ付積載車が更新配置されました。

また、職員の育児休暇、給与、退職手当に関する条例を審議し、5件すべての議案を可決しました。(河本記)

## 小浜病院組合議会

### ●小浜病院組合議会定例会

12月25日、公立小浜病院組合議会が開催されました。

「職員の育児休業等に関する条例の一部改正について」及び「一般職の職員の給与に関する条例等の一部改訂について」の2議案が上程され可決しました。

一般職の職員の給与は、人事院勧告に基づき月例給を平均0・2%引き上げます。ただし、勤勉手当については3年連続の据え置きとしました。

### ●研修会

議会終了後、平成28年10月に就任された、小西孝病院長による「小浜病院が歩いて来た道・これから歩く道(小浜病院赴任1年を振り返って)」と題して講演がありました。

主な内容は、経営理念、病棟の再編成計画、人間ドック受診者の開拓、医師不足の現状と将来の医師不足解消策で、特に、福井県の医師不



小浜病院組合議会

足の現状は、人口10万人当たりの医師数(28年)が全国平均240人に対し、嶺南は165人となっており、医療崩壊に注意を払う必要があると述べられました。

これからも、小西委員長を中心として、若狭地方で唯一の総合病院として、地域住民と共に歩み愛され、信頼される病院として成長していくことを期待します。

### ●レイクヒルズ美方病院の経営状況

11月24日、現状報告と今後の見通しについて説明がありました。

依然として財政状況は厳しく、将来の在り方を定めた改革プランの早期実現が望まれます。(梅津記)

### 敦賀美浜地域開発協議会視察研修

10月17日、愛知県豊田市への視察研修を行いました。同市は、名古屋市の東方に位置し、人口は約42万人で、市域918平方キロメートルです。平野部は自動車産業の集積による内陸型工業地帯が形成され、山間部は自然豊かな観光資源に恵まれています。

研修目的は、「環境モデル都市」に指定された同市の先進的な環境技術を視察することにより、再生可能エネルギーの普及と利用促進に向けた情報収集を行うことです。また、近代化産業

遺跡に認定されたトヨタ産業技術記念館を視察し、北陸新幹線敦賀開業を見据えた観光資源の開発に寄与することです。

同市は、

「ハイブリッド・シティとよた」をコンセプトに、低炭素社会の実現に向け取り組んでいます。取り組みを見える化し、分かりやすく伝える情報発信拠点として「とよたエコフルタウン」が誕生しました。パビリオンや水素ステーションをメインにスマートハウス等を配置した、次世代の環境技術を集約した施設でした。(兵庫記)



とよたエコフルタウンに関する説明



スマートハウスの見学

### 美浜町・若狭町 議会振興協議会

#### ●(株)レインボーラインの新体制に大きな期待

平成29年度的美浜町・若狭町両議会の振興協議会が11月14日若狭町レピアで開催されました。

両町の担当から、過去の(株)レインボーラインの経過報告と、新体制についての説明がありました。

その後、12月1日付けで新しく(株)レインボーラインの代表取締役就任された石田靖彦氏の講演を受けました。



NCリゾートの取り組み事例(びわ湖バレイのジップライン)

石田氏は、ヤマハリゾート、三井不動産、NCリゾートで日本を代表するリゾート地の支配人、代表取締役を務め、それぞれ拡大成長を成し遂げた実績を買われ、招聘されました。そして、この度、退職と同時に(株)レインボーライン代表取締役に就任して頂くことになりました。

石田靖彦氏が手がけてきた「NC

グループ事業再生の取り組み事例」は、シーズン制のあるスキー場に雲海テラスを設けて、年間入場者を大幅に拡大した北海道の星野リゾート、リゾナーレトマム。スカイウォークやジップラインを設けて夏期の入場者を大幅に増加させることが出来た滋賀県のびわ湖バレイの成功例を聞かせて頂きました。

(株)レインボーラインの再生をかけた手腕に大いに期待いたします。(浜野記)



美浜町・若狭町議会振興協議会

【1班】

美浜町の観光施策について

耳地区の河原市、南市、和田、木野、佐柿、麻生、中寺、宮代、小倉、栄区を対象に、美浜町歴史文化館において開催し、「美浜町の観光」をテーマに意見交換を行いました。

参加者から「美浜町の観光は未だに元気がない。各ゾーン別に入り込み客数を明確にしないと、どこにどのような施策を打てば良いのか判断できないので、ゾーン別に計画し進めるべき」といった建設的な意見や、「高齢化と人口減少の状況下で将来何ができるのか」といった質問がありました。

観光開発においては、「コンサルタンの提案を真剣に煮詰めることなく町の計画としているように感じられる」、「園芸拠点施設整備事業と道の駅構想は、場所的に離れており観光としての目的が果たせない」といった意見や「新幹線と道の駅構想のつながり」等についても質問がありました。

また、「三方五湖周辺はゴミも多く、

歩道やその周辺には雑草が生い茂り環境はよくない。ゆつくりくつろいで景観を楽しむベンチもない」、「県外のお客様を迎えようとする姿勢が見られない」など、厳しい指摘をいただき、自然環境への配慮の大切さを痛感しましたが、観光は、点から線、線から面へと拡大していくので、美浜町の現状は、線の過程かと説明し理解を求めました。

和田区からは、台風21号による河川災害の早期改修や和田方面からのJRガードの拡幅と国道27号小浜方



議会と語ろう会 (1班)

面への車の進入が困難な状況を解消する計画の進捗状況について質問がありました。(梅津記)

【2班】

国体来客者の宿泊所は確保できるのか？

南西郷地区の気山、大藪、金山、久保、郷市、松原、久々子区を対象に南西郷公民館において開催しました。

参加者からの主な質問と回答

【質問1】観光客の入り込み数は、どのように把握していますか。

【回答】県が把握し、町内の各観光ポイント(海水浴場、レインボーライン、千鳥苑、五湖の駅など)の入り込み客数を合計したものを出力しています。観光客の個人数ではなく、重複した数になっています。

平成27年は、千鳥苑14万6000人、五湖の駅5万3000人となっています。

【質問2】観光客が落としたお金は把握できますか。

【回答】他の市町では把握しているところ



議会と語ろう会 (2班)

るもあるのです、私たちも把握するよう行政側に提唱しています。行政側に確認を求めます。

【商工観光課】町では、夏季期間の入込み数調査を実施しており、各旅館・民宿・各海水浴場・観光施設などの約50軒を対象に消費額もあわせて把握しています。

平成27年夏季入込数：20万5394人  
平均消費額：7029円(51件)  
平成28年夏季入込数：22万4573人

平均消費額：6930円(44件)

【質問3】来年の国体はどれぐらいの人が来るのでしょうか。

【回答】美浜町が会場になる競漕、軟式野球、障害者スポーツのゲートボールの各競技は、日をずらして実施するので、各競技の人数が集中するわけではありませんが、福井県の試算がありますので、詳細を確認して報告します。

【商工観光課】町への来場者数は、約2000人程度と考えています。

【質問4】国体に来られた人に悪い印象を与えてはいけないので、ちゃんと対策をしなければいけないと思います。今ある旅館は受け入れの対策はできているのでしょうか。もう1年しかないので、早く考えないといけない。美浜町にある民宿だけでは対応できないと思います。

【回答】美浜町にある民宿・旅館だけでは、選手の宿泊で精一杯です。観光客や観光客の宿泊所をどう確保するのかというのが課題です。グリーンツーリズムのようなネットワークで宿の応援をする人ができないかという意見も出ています。今後の美浜の観光を考えると、民宿・旅館の受け入れ態勢を充実させていく対策が必要だと思えます。現在、県が中心となって、敦賀・若狭を含めた宿泊所の確保を進めていると聞いています。

【商工観光課】宿泊の体制については、

県が中心となり受け入れ体制を進めています。現在、泊まれる宿の把握と料金の調整がなされています。ボート競技に関しては、すべての選手の宿泊受け入れを美浜町のみでは、対応できないため敦賀市や若狭町の他市町で受け入れることになると思います。そういった中でできるだけ町の特色を活かし、しっかりとおもてなしができるよう取り組んでいきたいと思っています。

(河本記)

### 【3班】

## 新レインボーライン体制に期待する！

北地区の早瀬、笹田、日向区を対象に北西郷公民館において開催し、「美浜町の観光について」をテーマに意見交換を行いました。観光以外にも、地元の見聞や要望、町の将来ビジョンについて語り合い、貴重な時間を共有できました。

北地区は、行政の計画する「三方五湖ゾーン」の中核で、美浜町の漁業や海の幸のブランド化、民宿等、将来の町の観光を担う重要な地区であること

を再認識しました。

議会が説明した、新しい社長を迎えたレインボーラインの改革には、大きな期待を寄せられました。

観光客の入り込みを増やす具体策や、現在運休している三方五湖遊覧船に対する意見や質問、また、若狭町の常神半島の西側や丹生地区と比較し、「こちゃんまり」としていても漁場の特徴を活かしたコンセプトを持って、町一円バランスのとれた観光開発を進めるように」との声がありました。

若い方からは、「お年寄りが増え、若者が減っていくのが目に見える。若い人の意見やアイデアが無くなると将来のまちづくりに影響が出る。根本的な人口減少対策も必要ではないか」との意見や、「町の中長期的な展望で、「エネルギーのまちづくり」を行うとあるが、町民が潤うよう配慮して頂きたい」といった意見も頂きました。

原子力発電所美浜1、2号炉の廃炉と3号炉の運転延長工事が進む中、再生可能エネルギーの導入、利用促進といった「エネルギー構造転換」の考えが必要となり、国の交付金による環境体験教育館「きいばす」をはじめ、町でも「エネルギービジョン」を策定し実行することになったことや観光船については、再生エネルギーを利用して運航できないか調査していることを説明しました。



議会と語ろう会 (3班)

その他、「空き家対策」や、「危険箇所」の町民からの連絡に対し、中間報告でもいいから対策の方法を早く回答して欲しい」といった要望があり、担当課に伝えました。また、避難指示発生時における高齢者への対応や、今後整備される薬膳料理のレストラン、現在のコミュニティバスの運行について質問がありました。

(辻井記)

## 町民レガッタ

### 議会の部ワンツーフイニッシュ!!!

第30回町民レガッタが10月14日と15日に開催され、交流議会の部で、美浜町議会の「三方五湖」と「水晶浜」クルーが並んでゴールし、優勝、準優勝を飾りました。

石川県の津幡町と敦賀市、若狭町、おおい町の議会も参加し、お互いに若狭町の丸木船や、敦賀市のカッターレースでも交流を図っています。

また、30回大会を記念して造られた、へしこちゃんがおーれを持ったモニュメントの除幕式が行われました。(辻井記)



記念モニュメント



第30回美浜町民レガッタ開会式

## 知って得議会

### シリーズ⑦

#### 【議員の出席通告】

議会の招集の告知を受けた議員は、招集当日、開会の定刻前に議場に集まり、議長に応招の通告をするよう、会議規則で定められています。(美浜町議会会議規則 第1条：議員は、招集の当日開議定刻前に議事堂に参集し、その旨を議長に通告しなければなりません。)

美浜町議会では、備え付けの出欠簿に押印することで応招通告とみなしていましたが、「所定の用紙で届け出る」、「名札板をかえす」等によって通告とみなす議会もあります。

**登退庁表示システムを導入しました**  
美浜町議会では、昨年の12月議会より議員登退庁表示システムを導入し、これにより、議員のリアルタイムな登退庁状況をひと目で確認できるようになりました。よって、議員の応招通告の方法が「出欠簿への押印」から「登退庁表示システムの操作」に変更となりました。

※議員の登退庁状況は、1階正面玄関付近または3階議会事務局前にあるモニターでご確認いただけます。(議会期間中)(事務局記)



登退庁表示システム

#### 【表紙の説明】文化財シリーズ⑤

○興道寺廃寺跡と若狭国吉城歴史資料館  
平成29年11月17日文化審議会において、興道寺廃寺跡が国指定の史跡にまた、若狭国吉城歴史資料館(旧田辺半太夫邸)が国登録有形文化財(建造物)として文部科学大臣に答申されました。美浜町ではどちらも初めての指定となり快挙です。興道寺廃寺は、7世紀後半に建立された大規模な再建を経て10世紀に廃絶となった変遷が明らかになった希少な遺跡で、豪族耳別(みみのわけ)氏が建立したとされています。1300年の時を経た今も状態よく遺跡が残り、当時の仏教国の様子がほろふつと蘇ってきます。(写真及びイラストは、美浜町教育委員会提供)

#### 編集後記

あたらしい年を迎え、議会や議員の活動が、議会基本条例に伴った活動だったかというところを検証・評価しています。議員全員、まだまだ改革しなければならぬところやもつと町民の意見を取り入れ住みやすい町にしなければという思いがあります。3月には議員の改選があり、新しい美浜町議会でも一歩ずつ前進するため、この思いをしつかりと繋いでいきたいと思っています。(野瀬記)

#### 美浜町議会広報特別委員会

- 【委員長】 野瀬 雅己
- 【副委員長】 河本 猛
- 【委員】 兵野 健治 山口 和治  
兵庫 賢一 竹仲 良廣  
辻 健一郎